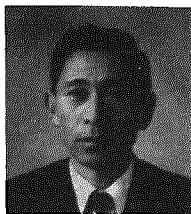
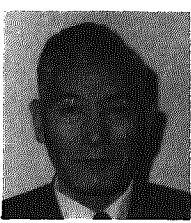


# 町民のみなさん 明けましておめでとうございます



市長 浅妻 茂一郎  
さて昨年不肖私が町長候補に立候補いたしました。町民各位から温かいご支援とご協力を賜り、町民の付託をうけて、町政をおあずかりすることとなり、二年目をむかえ、さらに心を新たに、勇気と情熱を燃やしながら、健康で文化的な活力のある明るい豊かな黒埼町建設を築き上げるため、一万九千五百余の町民の総意を結集した、町民参加の行政をすすめてまいりたいと、

昭和五十三年の年頭にあたり、黒埼町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。黒埼町の皆さん、あけましておめでとうございます。



ここに希望にあふれる新春を迎えるにあたり、皆様方のご清福とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

今年もまた皆様方と共に町政の発展と住民福祉の向上のため精一ぱいの努力を傾けたいと決意を新たにしております。

存じております。ご承知のとおり、昭和四十八年オイルショック以来、我が国経済をめぐる内外情勢は依然として楽観を許さない厳しい状況にあります。最近では円高ドル安など景気回復の緩慢化による構造不況、さらには農政では、史上かつてない水田利用再編対策問題、資源有限という極めて厳しい社会経済情勢に直面いたしております。

このことは、国家経済と密接不可分にある地方財政にも通ずることであり、私はこれら諸情勢を直視し町政執行の姿勢として(1)公平無私、(2)対話の町政、(3)明るく将来への確信を基本とし、町民に対する行政サービスの一層の向上を図るため、全力を投ずる所存であります。

昨年は、町民各位のご協力により政策により景気の停滞とこれに伴う企業の倒産も戦後最高といわれ厳しさを増しており、それに加え世界的経済のひづみから最近では極端な円高ドル安の現象が続き、国民に大きな不安を与えております。これがため、国地方自治体とも財政危機を脱しきれず大きな問題をかかえて新年を迎えました。このような情勢下にあつて、本町では総合体育館の建設、町道の整備、教育施設の充実等生活環境の整備充実に議會は絶えず町民の願いを真剣に受けとめて活動しておることをご理解願いたいものです。本町も年々人口が増加し本年中には二万

り、各種の事業を施行してまいりました。その主なものは、町道の改良舗装、新湯線とびく立パイプの促進、広域農道整備事業、地盤沈下対策事業、県道新湯亀田内野線の改修、永年懸案の大野新町諏訪排水対策として、水滑屋商店前樋管改修工事、大野地区排水対策の都市下水路事業の促進、町民の体育増進を図るため総合体育館建設事業、大野米町裏の河川敷地における児童交通遊園の設置、福祉バスの導入、消防施設の整備などを実施してまいりました。

昨年十一月末、福田改造内閣が誕生し今年には経済の年として経済問題に特に力を入れる構想であり私共は大いに期待をかけている年でありました。しかし、住民の生活安定、福祉増進を図るには、今後幾多の重要問題が山積しています。特に教育及び福祉行政、土木及び農政商工行政、また最近特に問題となっている新しい米の生産調整問題及び公害対策に重点をおいた施策を講じなければなりません。米の生産調整については、余剰米の増大、農畜産物の輸入拡大と農業をとり

を尊重し、職員一同、融合一体となつて住民の付託に応える覚悟であります。現在、まだ国の地方財政計画は明示されておませんが、行政需要の多様化に対処するため、行政機構の改善を図り、住民サービスの向上に努める所存であります。今年もこれから予算編成に入りますが、私は、「生活環境の整備充実」「農工商業の振興」「文教施設の整備」「住民福祉の増進」を最重点施策として、効率的な行政運営で内容の充実した魅力ある町づくりに、町民と手を携えて全力を傾注してまいりたいと思ひます。

新年に当り町民各位のご健勝とご多幸をお祈りするとともに、今後とも町政に対する一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。まく情勢は非常にきびしく、本県は、適地適産国民の食糧基地として、重要な位置にあるものの本年の生産調整割当高は、一〇一八〇ヘクタールとなつております。これらの問題の解決を図ることがわれわれに課せられた責務であり、関係機関と相まって最大の効果があがるよう努力する覚悟であります。昭和五十三年こそは、本町のより一層躍進の年として町政全般にわたり最大の努力を傾注する所存でありますから、なにとぞ倍旧のご指導ご鞭撻をお願い申し上げ皆様方のご多幸をお祈りしてごあいさつといたします。

## 第六回県中学生人権作文コンクール最優秀作品

### 「差別追放」(車中雑感)

黒中三年 大竹 友

- 新潟地方事務局で、十二月四日から行われた人権週
- 間にちなんだ、県内の中学生から人権作文を募集した
- この応募は二十七校、約六千点に及びましたが、最優秀に黒中
- 中学校三年大竹君の作文「差別追放」が入賞し去る十二月十三
- 日開かれた新潟人権擁護委員協議会の席上表彰式が行われ新
- 潟地方事務局長から表彰されました。尚優良、には二年
- 秋山尚幸君の「学校と人権」が入賞しました。

誰一人席を譲るところか、鼻をおおうふりをして、はた迷惑といわんばかりの視線を浴びせかけているだけではないか。

一方、母親に手をひかれて乗りこんだ二、三才位の女の子が、同じ年頃の女の子に足を踏まれたり、つねられたり、あげくの果てには「つば」までかけられていた。その子は逃げるようにして母親らしい人にもつわりつき、母もその娘をかばっていた。姉妹げんかど

気にもとめなかつたが、終点真近になると、盛んに「おいで、おいで」の合図をしているおばさんが、このいじめつ子の母親だとわかった。親子共々すばらしい盛装である。それにひかきえ、疲れきつた衰れた衣服のいじめられっ子。

乗り合わせていた周囲の人々のささやきから、このみすばらしい親娘の父は行方不明であり、従つて母子家庭であることがわかった。収入を断られた母は、その娘を連れて夜勤に行く途中のことであ

る。なり振りかまわぬありさまは、大人独特の異様な雰囲気から、自然と子ども心に「侮辱」という形をとらえさせてしまったに違いない。そのいじめつ子の母親はじめ、注目していた人々は、止めようとしなげかりか、なぜ見ぬ振りをしていたのであろう。鼻をおおう余裕があつたら、なぜその手で荷物を拾い上げ、いたわり、助けてやらないのであろう。勿論自分も含めてのことであるが――。

おばさんにしても、はじめに親娘にしても、「人権を無視された」と訴えるにはあまりにも弱すぎる。そしてあの時、その「人権」さえ尊重されていたら、あんな屈辱に耐え、さらし者にならなくともすんだに違いない。また仮りにあの場合、知名人であつたならどうだったであらう。周囲はそそくさと席を譲り、扱いがまるで逆だっただろうと思うと「人権」という二字が重くのしかかってくる。事件にもならない事件。訴えるにはあまりにも小さ過ぎる。そう一言ではおむつてしまえば何もかもおしまいである。「穴は小さいうちに繕え」のごとく、軽視されがちな、小さな中にこそ繕つてお互いにいたわり、思いやり、そして理解し、補い合つて行くこと

### 善意に感謝

○新潟大野ライオンズクラブ  
社会福祉に、五三、六五〇  
田奇贈



月に何度も乗ることのない車中は、ぼくににとっては、世間への掛け橋であり、探索の場であり、憩いの場でもある。ところが、この小さな、たった一輛の車中で大きな人権問題が提起されたのである。「ちよつと待ってくんないや。」発車寸前につぶれんばかりに荷を背負い、両手いっぱいにかかえ、

はい上がるようにして、一人のおばあさんが乗りこんだ。不慣れな様子で、吊り皮を求める余地もなく、電車が動き出すとおばあさんはよろめき、重過ぎる荷物はいつそう揺れを大きくし、とうとうその荷物と一しよにのめつてしまった。みじめに膝をつき、身より離れた荷物を求めるおばあさんの姿は、いかにもこっけいだった。着なれぬ服に新しげな、つぎはぎだらけの風呂敷から野菜のぞき、おまけにその風呂敷の端で汗をぬぐい、ただでさえ息詰まる車中に少なからず異臭を放ち、誰の目にも嘲笑の色が漂っていた。立っているのは、ぼくと二人だけなのに、